

2012年は「国際協同組合年」です。

2009年12月18日 国際連合（以下、国連）は2012年を「国際協同組合年（International Year of Cooperatives=IYC）」とすることを宣言しました。

これは、協同組合がもたらす社会経済的発展への貢献が国際的に認められた証で、特に協同組合が貧困削減・仕事の創出・社会的統合に果たす役割が着目されています。

国際協同組合年（IYC）には3つの大きな目的があり、その目的にむかって国際的にも国内でも様々な取り組みがおこなわれています。日本では2012国際協同組合年全国実行委員会が発足し、日本再共済連のほか様々な協同組合がこの実行委員会に参画しています。

国際協同組合年（IYC）の3つの目的

- (1) 協同組合についての社会的認知度を高める
- (2) 協同組合の設立や発展を促進する
- (3) 協同組合の設立や発展につながる政策を定めるよう政府や関係機関に働きかける

◆ロゴとスローガン

【ロゴ】



7人が協力して立方体を持ち上げ、支えています。7人は「協同組合運動の7原則」を、立方体は協同組合の事業がめざす様々なゴール・志・成果を表現しています。

【協同組合運動の7原則】

- 自発的で開かれた組合員制
- 組合員による民主的管理
- 組合員の経済的参加
- 自治と自立
- 教育、訓練および広報
- 協同組合間の協同
- コミュニティへの関与

【スローガン】

「協同組合がよりよい社会を築きます」

“Co-operative enterprises build a better world”

◆今後予定されている主なイベント

- 国際協同組合年キックオフイベント：2012年1月13日（金）
- 2012年国際協同組合デー関連行事：2012年7月7日（土）前後
- 国際協同組合同盟（ICA）アジア太平洋地域総会 協同組合フォーラム等：
2012年11月26日（月）～30日（金）神戸国際会議場

このほかにも国際協同組合年関連の多数のイベントが予定されています。
詳しくは「2012 国際協同組合年全国実行委員会」ウェブサイトをご覧ください。